

～行財政入門講座～

行財政
入門講座

富士見市の将来の都市像と

わたしたちの暮らし

第五回「うるおい・やすらぎのまちづくり」

～地域資源を活用しての

新たな**活性化の取組**～

- ◆ 第五回行財政入門講座は「うるおい・やすらぎのまちづくり」をテーマに開設された。

開講日 9月27日（土）

時 間 AM10:00～12:00

場 所 鶴瀬公民館 第三集会室

テーマ 「うるおい・やすらぎのまちづくり」

—地域資源を活用しての新たな活性化取組—

花のまちづくり構想の現状と今後の取り組み（さくら・菖蒲・コスモス・サイクリングロード）

受講者 26名

講 師 富士見市役所

自治振興部 地域文化振興課

課長 市川信男 氏



富士見市役所

自治振興部 地域文化振興課

課長 **市川信男氏**の講義サマリー
(PowerPoint 抜粋)



市川信男課長

1. 富士見市見どころ発見 ～花たより～



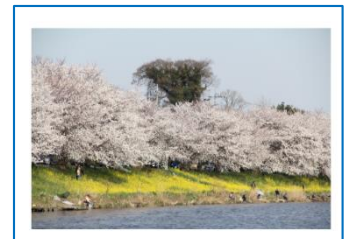
菖蒲（山崎公園）



藤（図書館前）



菜の花（南畑）



桜（砂川堀）



コスモス街道（9月24日撮影）



貝塚公園



難波田城



富士見市からの富士山



カワセミ（市の鳥）



きらり

2. 富士見市ってどんな街？

① 富士見市の住み心地は？

7割の人が住みよいと答えています。

住みよい理由は

買い物に便利

・ まわりに緑や公園が多い

通勤・通学に便利

・ 街に愛着がある・

② 富士見市

★ 長所・強み

水や自然が豊か・田んぼが多い。

東上線が便利・「富士見」という市名がいい。

★ 短所・弱み

道が狭い(歩道が狭い)・自転車が多い 商店街に元気がない。

★ 機会 プラス要因

「ららぽーと富士見」オープン

東急線乗り入れ・富士山世界遺産登録 バス便が増便

★ 脅威

東上線に人身事故が多い 道路の渋滞・負のイメージ

★「機会」と「強み」を掛け合わせた所⇒「資金も人も投入する積極的な攻勢ゾーン」

★「機会」と「弱み」を掛け合わせた所⇒「弱みを改善してチャンスを取るゾーン」

★「脅威」と「強み」を掛け合わせた所⇒「強みを活かして差別化するゾーン」

★「脅威」と「弱み」を掛け合わせた所⇒「致命傷回避・撤退縮小ゾーン」

★「機会」と「強み」を掛け合わせた所⇒ 住みよい・自然・田んぼ・ららぽーと・東上線と東急

★「機会」と「弱み」を掛け合わせた所⇒ ららぽーと開業でバス便が増え、交通体系整備

★「脅威」と「強み」を掛け合わせた所⇒ 自然や田んぼが多い住みよい市のイメージを周知する。

③ 富士見市の都市像

☆ 住宅都市

長期の滞在や宿泊の伴う観光地ではない

池袋から30分。都心から近い 交通至便

自然や水・田んぼなど都心に近い田園風景

ららぽーと富士見など大型ショッピング施設もある

災害の少ない

3. 地域資源の創出・活用 (第5次基本構想・中期基本計画)

◆ 地域の活性化を図るための新たな資源

首都30km圏内という立地条件

肥沃な田園地帯、緑地や湧水などの自然環境、

水子貝塚公園や難波田城公園などの史跡。

◆ 地域資源の創出と活用

資源(河川、湧水、斜面林などの自然、歴史公園や古の道など)

「時を伝えるネットワーク」(季節ごとに咲く花)

(市の花「ふじ」、山崎公園の花菖蒲、市内の桜の名所、南畑地域を彩る菜の花、

富士見江川・新河岸川沿いのコスモス)

資源と「時を伝えるネットワーク」を結びつけ、地域資源の創出と活用を進める。

◆『時を伝えるネットワーク事業』の整備と PR

自然・歴史資源、季節ごとに咲く花などを「時を伝えるネットワーク」として整備し新たな地域資源として、PR と活用にあ努めます。

◆『サイクルネットワークの活用』

富士見江川沿道を整備し、富士見川越道路や新河岸川沿道のサイクリング道路とのネットワーク化に取り組みます。

◆『マスコットキャラクター活用事業』

市制施行 40 周年を記念して誕生した市のマスコットキャラクター「ふわっぴー」を活用し、富士見市の特産品や地域資源の PR を行います。



◆『富士見のいいところ広め隊』

富士見市のあらゆる地域資源のほか、富士見ブランド、時を伝えるネットワーク、キラリふじみの独創的な活動などの情報を、ホームページを始めとする様々な手法により、対外的に発信していく体制をつくります。 また、ロケーションサービスの実施により、富士見市の魅力を市内外に広めます。

4. 富士見市桜のオーナー制度

地域活性化事業（時を伝えるネットワーク事業）

- ・ 目的 富士見市内域に複数の花や樹種等を市民と行政の協働により植栽し、年間を通じて花のライン及び散策回廊を設け、その活用したイベントを行い、市民の潤いと安らぎの環境を創設するとともに、市のイメージアップを図り、将来の観光スポットとする。
- 桜のオーナー制度実施要綱
- 制度のあらまし（ポイント）
- 事業実施の内容



5. 地域活性化組織の結成

■組織の概要と目的

「地域の活性化」＝「富士見市ににぎわいを興す」＝「活力あるまち」

- ✚ 平成27年春に大型商業施設が開業することに伴い、富士見市にもこれまでにない、多くの人を訪れることとなる。多くの人を訪れることとなる中で、富士見市をPRするまたとない機会であり、市内を周遊できる＝いわゆる「観光」の重要度が高まっている。
- ✚ 「観光」とは、狭い意味では、他国、他地域の風景、風俗、文物等を見たり、体験したりすること、広い意味では、観光旅行とほぼ同義で、楽しみを目的とする旅行一般を指す。とされている。